

檄………!!! 檄………!!!

小樽、八千の港灣労働者は、いま、必死となつて戦つてゐる。罷業、二日にして、血迷つた官憲の壓迫は露骨となり、小樽合同其の他の幹部は檢束拘留された。

資本家共は、官憲と野合しエセ労働組合北海労働俱樂部の合田久逸を手先として争議團の切り潰しと罷業破りに全力を注いでゐる。

どうだ!!! 水上警察署長、小樽市助役、兵事係等々は公益と云ふ名に於て在郷軍人を動かし救護班を動員して荷役に従事せしめてゐる。

小樽警察署の幹部は、小樽市の對外的信用と云ふ資本家の利益の名に於て、石炭積込作業方面の三井其他の資本家共に應援して、室蘭、余市、壽都、各方面に人夫の狩出しに精勵援助してゐる。

逓信局小樽分室は、昨日、二十日、長時間に渡つて、争議團の聯絡を斷つ爲めに、小樽の中央部から二分して、通話を遮斷した。

此の舉にあつて警察は、完全に活動した。此の暴舉を見よ………!!! 商業會議所は書記長成田をして、八方に活動せしめ、二十日は資本家共を糾合して、労働組合破壊の協議をやつた。

今や、小樽市に於ける、警察、在郷軍人團、救護班、市役所、商業會議所、逓信局等々は一團となつて、冷血の妖怪、小樽の資本家共に應援し、八千の港灣労働者を脅かすのみならず、小樽と云ふ自治体を完全に蹂躪せむとしてゐる。

今、展開されてゐる、小樽の労働者の闘争は、實に、全北海道の解放運動の中樞である。従つて、それは又、全日本の我等の陣營の中堅を爲すものだ。此の陣營こそは、我等が死守しなければならぬ。

小樽へ!!! 我等の凡ての力を集中せよ………!!!

1、應援の闘士を!!!

2、爭議資金を!!!

3、全北海道の港灣は

同情罷業を敢行せよ!!!

4、凡ての産業を中止せよ、

罷業せよ!!!

労働者は即時、應援資

金を積立て、送れ!!!

(昭和貳年六月)

日本労働組合評議會

北海道地方評議會

小樽市稻穂町西四ノ六